



The Power of Purification

オルガノグループは、水で培った先端技術を駆使して、
産業と社会基盤の発展に貢献します。

経営理念

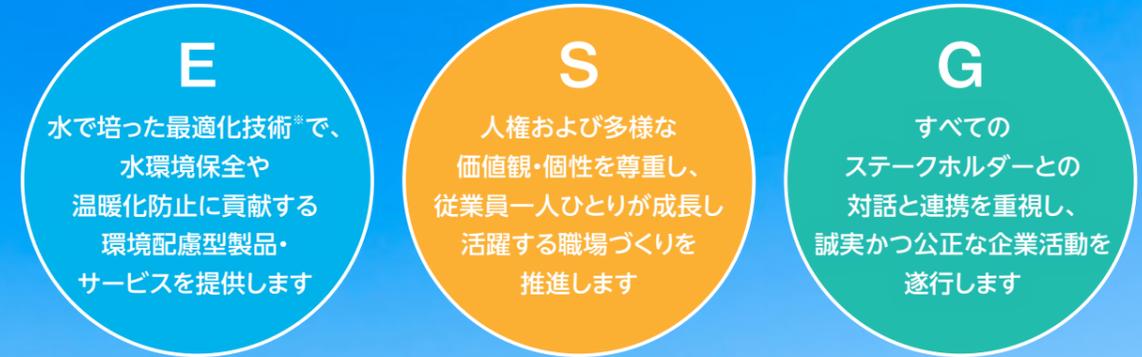
オルガノは水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決を推進する
製品・サービスを絶えず提供します
昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を構築します

サステナビリティ方針

わたしたちオルガノは、ステークホルダーとともに、
未来に向けて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します



※“水で培った最適化技術”には、水処理に関わる分離精製、分析技術やエンジニアリングにおける技術の追求と、その組み合わせによって社会のニーズに合致した最適なシステムやサービスを提供するという意味が込められています。

目次

イントロダクション	経営資源	コーポレートガバナンス	45
イントロダクション	知的資本、人的資本	環境	53
経営理念／長期経営ビジョン	(研究開発・エンジニアリング)	社会	57
サステナビリティ方針	製造資本	コーポレートデータ	
オルガノグループとは	社会関係資本(海外ネットワーク)	財務／非財務情報	61
オルガノグループの事業概要	オルガノグループの成長戦略	連結貸借対照表	63
オルガノグループの歩み	長期経営計画ORGANO 2030	連結損益計算書／	64
オルガノグループの価値創造	中期経営計画(2023-2025)	連結包括利益計算書	
トップメッセージ	財務戦略	連結株主資本等変動計算書	65
3つの強み	新しい顧客価値創出への取り組み	連結キャッシュ・フロー計算書	66
TOPICS：価値創造の事例	水処理エンジニアリング事業	会社情報／	67
価値創造プロセス	機能商品事業	外部からの評価・指数への採用	
オルガノグループの製品・技術が	オルガノグループのサステナビリティ	ネットワーク(国内／海外)	68
提供する価値	オルガノグループの		
	サステナビリティマネジメント		41

【編集方針】

オルガノグループは、2020年より財務活動と非財務活動を併せて報告するオルガノグループレポート(統合報告書)を発行しております。株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、財務情報、経営戦略、事業環境、ESG(環境・社会・ガバナンス)などを統合的に見ていただくことにより、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをよりよくご理解いただくことを目的としています。本レポートも踏まえステークホルダーの皆様と対話し、さらなる企業価値向上につなげてまいります。

【参考にしたガイドライン】

国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
ISO26000:2010 社会的責任に関する手引き

【将来の見通しに関する注意事項】

本レポートの記述について、将来の見通しについての記述は、現時点で入手可能な情報に基づき合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがあることをご承知おきください。



社名の由来

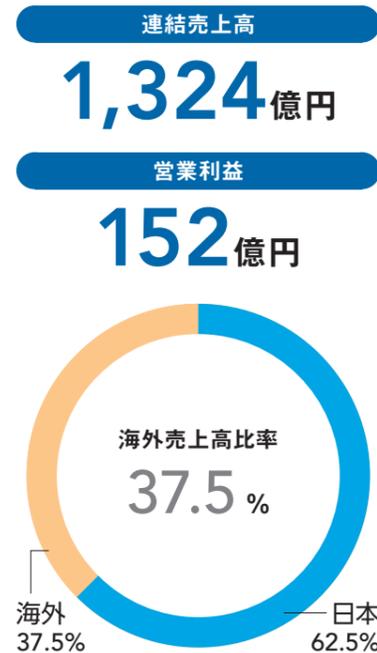
当社の基幹材でありますイオン交換樹脂は、天然産の無機ゼオライトに対して、有機ゼオライト(オルガニックゼオライト)、略名[オルガノライト]と呼ばれており、これが当社の社名の由来です。

本レポートに掲載されている「エコリスタ、ビューリック、オルブレイド、オルスマート、みずねつ／水熱」は、オルガノ株式会社の登録商標または商標です。

オルガノグループの事業概要

オルガノは超純水・純水・水道水・産業排水・下水と幅広い水処理技術を有し、その技術を非水分野にも応用しながら、多種多様なお客様に対してグローバルに事業を展開しています。また、製品開発、設計、施工、販売、納入後のメンテナンスや運転管理まで自社で一貫して対応が可能な体制を整えています。

○ 2023年3月期



水処理エンジニアリング事業



各種の生産工場や発電所、上下水道設備などで利用される水処理設備を提供しています。世界トップレベルの純度を誇る超純水の供給から、水のリサイクル設備や有害な排水を無害化する各種の排水処理設備など、総合水処理エンジニアリング会社として事業を展開しています。

○ プラント事業



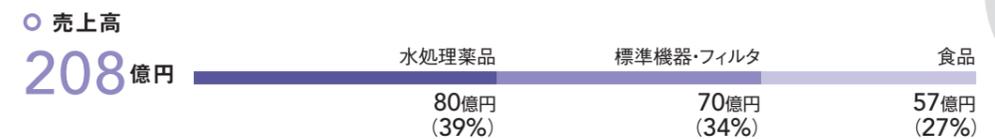
多くの産業、国々で培ってきた高い技術力で最適な水処理システムを提供

○ ソリューション事業



顧客設備の運転管理・改善ニーズへのソリューションや、自社保有設備にて純水等を提供

機能商品事業



各種の生産工場や商業施設、医療・研究機関などに水処理薬品、標準型機器・フィルタ、食品加工材などの機能商品を提供しています。主に国内向けにビジネスを展開してきましたが、医療機関向けの小型純水装置や電子産業向けの水処理薬品など、海外への事業展開強化にも取り組んでいます。

○ 水処理薬品



各種の工場や商業施設などの冷却水処理やボイラ用水処理、排水処理、RO膜などに利用される各種水処理薬品を提供

○ 標準機器・フィルタ



医療・研究機関で活躍する小型の純水装置や、各種の工場や自販機・コーヒーマシンなどで活躍する浄水フィルタを提供

○ 食品



加工食品や飲料の原材料として利用される食品添加剤の提供や、健康食品・介護用食品に向けた原材料の加工技術を提供

オルガノグループの歩み

75年以上にわたり培ってきた技術力

我々は1946年の創業以来、産業と生活に必要なとされる水のニーズに応えてきました。
 オルガノグループの歩みは、水の価値や可能性が拡大してきた歴史でもあります。
 病院や研究所などに向けた無熱蒸溜水製造装置の開発に始まり、各種の産業における
 純水・排水の処理設備や、上下水道・発電所などに向けた水処理設備、
 半導体など電子産業に向けた超純水設備など、幅広い水処理装置・技術を手掛け、
 国内外で産業や日々の暮らしの発展を側面から支える役割を担っています。

創業

1946年
 小型純水装置
 (無熱蒸溜水製造装置)を開発



1951年
 国内初の
 大型純水装置を
 納入



1953年
 糖特殊液精製分野に展開



1954年
 水処理
 薬品事業を
 開始



1957年
 国内初の
 電子産業向け
 超純水装置を納入

1959年
 上下水道
 分野に展開



1959年
 食品事業を
 開始



1966年
 発電所向けの
 大型水処理
 プラント納入



1984年
 医薬品製造分野に展開



1986年
 総合研究所開設[戸田]



1986年
 オルガノ(マレーシア)
 (現オルガノ(アジア))設立

1991年
 半導体向けの納入が
 拡大



1989年
 オルガノ(タイランド)設立

2003年
 海外展開ソリューション
 サービス強化

2005年
 包括ソリューションサービス
 本格化



2005年
 開発センター設立[相模原]



2003年
 オルガノ(蘇州)水処理
 有限公司設立

2005年
 オルガノ・テクノロジー
 有限公司設立[台湾]

2014年
 水熱利用システムによる
 省エネソリューション
 サービス開始



2018年
 新経営理念
 長期経営ビジョンを
 制定

2020年
 冷却水処理剤
 『オルブレイドシリーズ』
 による省エネ
 ソリューションサービス



2021年
 『RO膜水処理設備』
 省エネソリューション
 【オルスマートRO】



2022年
 サステナビリティ方針
 を策定
 冷却水処理のDXによる
 省エネソリューション
 【オルスマートCW】



2010年
 オルガノ(ベトナム)設立

2013年
 合併会社 PTラウタン・
 オルガノ・ウォーター設立
 [インドネシア]

2015年
 合併会社 ムルガッパ・オルガノ・
 ウォーター・ソリューションズ設立
 [インド]2021年合併解消

2021年
 オルガノ(USA)設立



日本オルガノ商会の誕生

1946年長野県諏訪市で創業。日本初のイオン交換装置を主要営業品目とする企業として発足。戦後の復興と日本経済の再建に伴う産業界からのさまざまな要請に応えて、研究や装置の開発に注力し、水処理、糖類精製などの分野で実績を築いていきました。

総合水処理エンジニアリング会社へ

世界で初めて連続式純水製造装置を完成、日本初の「バルスベッド」式糖液脱色装置を開発しました。また、公害への問題意識の高まりといった時代背景の中で原子力発電所の水処理装置の開発、本格的な超純水製造システムの実用化を果たし、公共下水道施設や企業の排水処理で実績を築き、総合水処理エンジニアリング会社へと大きく飛躍を遂げました。

革新と創造

1988年に「革新と創造」を経営方針に掲げ、社内風土を刷新、活性化し、海外での現地法人の設立、医薬品工業向け事業の強化を進めました。さらに、事業領域の拡大、グループとしての連携体制の確立、技術開発強化のための組織の再構築などの経営課題を着実に成し遂げていきました。

事業領域と事業地域の拡大によるさらなる飛躍

2018年に理念体系を再編成。水で培った先端技術を水以外の領域にも拡大し、展開地域も広げることで、産業の発展や社会の課題解決に貢献することを目指す長期経営ビジョンを策定しました。水の価値の創造を通して、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

※グラフは売上高の推移を表しています。